

SHOWA Medical University

昭和医科大学 サポート寄付制度

ご支援のお願い



学校法人
昭和医科大学

〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 <http://www.showa-u.ac.jp/>
昭和医科大学サポート寄付制度に関するお問い合わせ Tel.03-3784-8387 (総務部 企画課)

SHOWA Medical University SUPPORT

ご支援をいただく方のご意向に応じて、
多彩な寄付の形態を
ご用意しております。

質の高い教育・研究・医療を守り続けるには、多くの経費と継続的な支えが
欠かせません。学内でもさまざまな工夫を重ね、環境の充実に取り組んで
おりますが、未来を担う医療人を育むためには、なお一層の後押しが大切
になります。皆様の温かなご支援を賜れましたら幸いです。



学校法人昭和医科大学
理事長 小口 勝司



昭和医科大学
学 長 上條 由美

皆様におかれましては、平素より昭和医科大学の教育・
研究活動に格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申
上げます。

昭和医科大学は、昭和3年(1928年)の創設以来、「至誠
一貫」の建学の精神のもと、優れた医療人の育成に取り組
んでまいりました。現在も、上條秀介博士が掲げたこの精神
を大切に受け継ぎ、教育・研究・診療の一層の充実に
努めております。

令和10年(2028年)には、創立100周年という大きな節
目を迎えます。本学ではこの記念すべき年に向け、創立
100周年記念事業を着実に進めております。その一環とし
て、令和9年(2027年)には、鷺沼キャンパスの開校、保健
医療学部における新学科・新専攻の設置、さらに昭和医
科大学附属横浜看護専門学校の設置を予定しております。

これらの取り組みを通じて、教育・研究・診療環境のさら
なる充実を図り、社会に貢献できる医療人の育成をより
一層推進してまいります。

「昭和医科大学サポート寄付制度」は、平成24年(2012
年)に創設され、学校法人事業の支援をはじめ、奨学金制
度などによる学生生活のサポート、各分野の研究活動の推
進、教育・医療環境の整備など、幅広い目的にご活用いた
だけの制度です。制度創設以来、多くの皆様から寄せら
れた温かいご支援は、本学の教育・研究活動を支える大き
な力となっております。

同窓生の皆様、学生の保護者の皆様、企業の皆様、
そして職員をはじめとする関係者の皆様におかれましては、
本制度の趣旨にご賛同いただき、今後とも変わらぬご支援
とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

◆ 寄 付 の 目 的 一 覧 ◆



令和7年度 寄付実績

ご支援
いただいた方

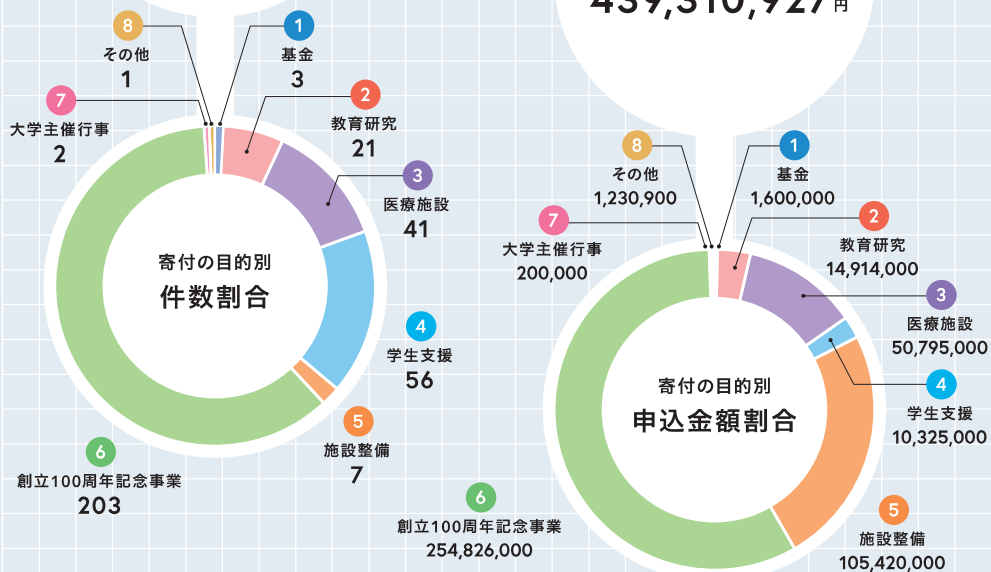
334件

寄付総額

439,310,927円

寄付の目的別
件数割合

寄付の目的別
申込金額割合



奨学寄附の実績

令和7年度のご支援、ありがとうございました。

498件 399,994,000円

皆様からいただいた 寄付の成果をご紹介します

富士吉田キャンパス 2号館の完成

初年次全寮制教育を担う富士吉田キャンパスでは、実践的な学修環境の充実を目的とした2号館が完成しました。国内最大規模となる20台の3Dバーチャル解剖台「アナトマージテーブル」を備えた実習室や基礎看護実習室を整備し、2026年4月より運用を開始いたしました。



▲竣工式(2026年1月実施)



▲アナトマージテーブル



▲2号館外観

クラブ活動における学生の活躍

昭和医科大学では、皆様からのご寄付を活用し、学業とともにクラブ活動の充実を図ってまいりました。その支援のもと、アイスホッケー部は学生主体での活動を継続し、馬術部は第57回全日本医歯薬学生馬術新人戦で団体優勝を達成しました。医学部準硬式野球部も東日本医科学生総合体育大会で優勝するなど、各クラブが力強い成果を上げています。



医学部準硬式野球部▶



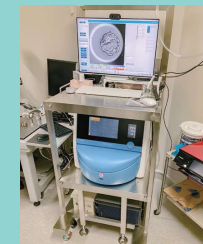
▲アイスホッケー部



▲馬術部

寄付による医療・教育環境の充実

本学では、寄付金を活用し、医療施設における診療体制の高度化と機能充実を推進してきました。その取り組みの一環として、タイムラプスインキュベーターや汎用超音波診断装置をはじめとする医療機器を導入しています。これにより、医療の安全性および質のさらなる向上を支える体制が整い、先進的で信頼性の高い医療環境の整備が着実に進んでいます。



▲タイムラプスインキュベーター



▲汎用超音波診断装置



夢、追いかけて。

昭和医科大学は2028年(令和10年)に創立100周年という大きな節目を迎えます。
創立100周年記念事業として未来につなげる事業を展開し、
教育・研究・診療のより一層の充実を目指し邁進していく所存です。

創立100周年記念事業 への寄付



寄付の目的

6-1 創立100周年記念事業

鷺沼キャンパス
整備事業

創立100周年記念事業のひとつとして、昭和医科大学では令和9年度の開校を目指し、鷺沼キャンパスの整備を進めています。本事業は旗の台キャンパス校舎整備計画の一環として、令和6年度に建設工事を着工し、令和8年度に新校舎が完成する予定です。新キャンパスでは、医・歯・薬学部2・3年次および4年次の一部、保健医療学部の2～4年次、助産学専攻科の約2,000人の学生が、学部を超えて共に学び、チーム医療が習慣として身につく環境を整備します。相互の理解と信頼、学部や職種を超えた仲間意識を醸成するため、建物内は学部別ではなく、学年を軸とした構成とし、将来の医療を担う人材の育成を目指します。



令和7年度寄付実績

203件 254,826,000円

詳細は
こちらを
ご覧ください旗の台キャンパス
整備事業

本事業は、大学施設および病院施設の整備を計画するものです。鷺沼キャンパス移転後の大学機能の配置計画を検討するとともに、昭和医科大学病院と附属東病院の機能を統合して、入院棟・中央棟・新棟における病院機能の配置計画を検討し、診療・教育・研究体制の強化を図ります。

歯科病院
旗の台
移転事業

本事業は「旗の台キャンパス整備事業」に係る事業の一環として実施するもので、歯科病院の機能を旗の台エリアへ移転する計画を検討しております。旗の台キャンパス整備との整合を図りながら、歯科病院機能の配置や施設計画について段階的に検討を進めてまいります。

藤が丘病院
再整備事業

開院から51年を迎えた藤が丘病院を再整備し、地域の皆様が将来にわたり安心して医療を受けられる環境を整備します。横浜北部地域の中核病院として高度急性期医療や災害拠点病院としての機能を担うとともに、藤が丘駅前地区の都市計画および土地区画整理事業に基づき、地域と一体となったまちづくりを推進してまいります。

保健医療学部
新学科等設置・
再編事業

医療の高度化・多様化に対応するため、令和9年4月にリハビリテーション学科へ言語聴覚療法学専攻・視覚機能療法学専攻を、医療技術学科として診療放射線技術学専攻、臨床工学専攻、歯科衛生学専攻を新設します。保健医療学部の再編により、それぞれの専門性を発揮し、多様な職種と連携・協働できる人材の育成を図ります。

横浜キャンパス
看護専門学校
設置事業

令和9年4月に昭和医科大学附属横浜看護専門学校の開校を予定しています。保健医療学部の鷺沼キャンパス移転後の施設を活用し、建学の精神「至誠一貫」のもと、医系総合大学附属校ならではの質の高い教育と実践的な学びの場を提供し、豊かな人間性を育むとともに、人々の健康の回復・維持・増進に貢献できる優れた医療人の育成を目指します。



SUPPORT

1

学びへの意欲に応え、 次代につながる人間力を育てたい。

奨学金制度の拡充、継続を目的に資金を積み立て、
その運用益を学生等へ還元します。

基金への寄付



寄付の目的

1-1 上條奨学基金

- 上條奨学賞
- 上條賞

創立者 上條秀介博士の寄付を原資とし、教員の学術・教育功績や、学業・人物ともに優秀な学生を表彰します。

1-2 上條旗ヶ岡賞基金

- 上條旗ヶ岡賞

上條一也学長逝去に伴い上條家より寄せられた寄付を原資とし、課外活動で活躍し学業・人物ともに優秀な学生を表彰します。



基金とは資金を積み立てて、
その運用益(預金利子等)を財源に奨学金制度の形で
学生等へ還元していくものです。

令和7年度寄付実績

3件 1,600,000円

詳細は
こちらを
ご覧ください



SUPPORT

2

最先端の研究活動を支え、 未来の価値をともに創造したい。

脈々と受け継がれてきた本学の探究心。
幅広い分野で先進の研究に取り組んでいます。

教育研究への寄付



寄付の目的

2-1 教育研究協力資金

教育研究の充実に向けて、本学は財政基盤の強化に取り組んでおりますが、私立の医系大学を取り巻く情勢は年々厳しさを増しております。教育研究協力資金としていただいたご寄付は、本学の教育・研究の充実、発展および施設設備の整備充実を図るための資金として活用させていただきます。

2-2 医学部

2-3 歯学部

2-4 薬学部

2-5 保健医療学部 看護学科

2-6 保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻

2-7 保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻

2-8 大学院医学研究科

2-9 大学院歯学研究科

2-10 大学院薬学研究科

2-11 大学院保健医療学研究科

2-12 助産学専攻科

2-13 富士吉田教育部

2-14 看護専門学校

2-15 図書館

2-16 研究所

本学における研究の一層の充実のため、以下の11の機関を研究所とし、最新の研究に取り組んでいます。

- 先端がん治療研究所
- 臨床薬理研究所
- 発達障害医療研究所
- スポーツ運動科学研究所
- 富士山麓自然・生物研究所
- 臨床ゲノム研究所
- 脳機能解析・デジタル医学研究所
- ストレスマネジメント研究所
- 臨床疫学研究所
- メディカルデザイン研究所
- 細胞外マトリックス研究所

2-17 各講座・研究室「奨学寄附金」

2-18 教育職員等「奨学寄附金」

本学(本法人が設置する専修学校を含む)の
教育研究の維持向上をはかるための資金として
使用される寄付金です。

令和7年度寄付実績

21件 14,914,000円

詳細は
こちらを
ご覧ください



優れた医療人を育成するために、 その根幹となる医療施設を充実したい。

医学教育の中核となる病院施設。
その充実こそが医療人としての将来の力につながります。

医療施設 への寄付



寄付の目的

3-1 昭和医科大学病院

〒142-8666
東京都品川区旗の台1-5-8
TEL.03-3784-8000
[許可病床数 総数815床]



3-2 昭和医科大学病院附属東病院

〒142-0054
東京都品川区西中延2-14-19
TEL.03-3784-8000
[許可病床数 総数199床]



3-3 昭和医科大学藤が丘病院

〒227-8501
神奈川県横浜市青葉区藤が丘1-30
TEL.045-971-1151
[許可病床数 総数584床]



3-4 昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院

〒227-8518
神奈川県横浜市青葉区藤が丘2-1-1
TEL.045-974-2221
[許可病床数 総数197床]



3-5 昭和医科大学横浜市北部病院

〒224-8503
神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1
TEL.045-949-7000
[許可病床数 総数689床]



3-6 昭和医科大学江東豊洲病院

〒135-8577
東京都江東区豊洲5-1-38
TEL.03-6204-6000
[許可病床数 総数400床]



3-7 昭和医科大学烏山病院

〒157-8577
東京都世田谷区北烏山6-11-11
TEL.03-3300-5231
[許可病床数 総数340床]



3-8 昭和医科大学歯科病院

昭和医科大学歯科病院内科クリニック
〒145-8515
東京都大田区北千束2-1-1
TEL.03-3787-1151
[許可病床数 総数22床]



3-9 昭和医科大学豊洲クリニック

〒135-0061 東京都江東区豊洲5-5-1
豊洲シエルタワー 3階
TEL.03-3531-9920



詳細はこちらを
ご覧ください

令和7年度寄付実績

41件 50,795,000円



有意義な学生生活を支え、 昭和医大での感動をより価値あるものへ。

国際交流や部活動など、
さまざまな活動をサポートします。

学生支援 への寄付



寄付の目的

4-1 学生等の保健管理

保健管理センターでは学生・職員の健康管理を担い、心身の健康
保持と増進に全学的に日常的に努めています。

4-3 公認クラブ

体育系・文化系あわせて約70のクラブがあり、文武両道の学生生
活を実践しています。

クラブ一覧は
QRコードから
ご覧いただけます。



4-2 学生等の留学・国際交流

国際交流センターでは海外研修等を用意し、国際交流の機会を得
られるよう奨学金制度により学生を支援しています。

4-4 大学祭・寮祭

仲間と共に過ごす時間、みんなで力を合わせて何かをつくりあげる
経験は、とても有意義な一生の思い出となります。

6月 富士吉田キャンパス寮祭

10月 旗の台キャンパス旗ヶ岡祭

10月 横浜キャンパス緑風祭



令和7年度寄付実績

56件 10,325,000円

詳細は
こちらを
ご覧ください



SUPPORT

5

本学がさらに発展し、
医系総合大学として輝いて行きたい。

キャンパス整備や施設整備など
学びの場の充実のために活用されます。

施設設備への寄付



寄付の目的

5-1 病院施設・運営維持

老朽化への対応と将来の建替えを見据え、高度急性期医療の一層の充実と病院運営の質向上を図ります。

5-2 校舎建設・運営維持

各キャンパスで施設整備と自然教育園の活用を進め、学習および生活環境の一層の充実を図ります。

5-3 学生寮建設・設備維持

学生の経済的支援と学習環境の向上を目的に、各キャンパスで学生寮の整備を図ります。

5-4 職員寮建設・設備維持

福利厚生の一環として職員寮を整備し、その一部を外国人留学生や研究者向け住宅として運営しています。



令和7年度寄付実績

7件 105,420,000円

詳細は
こちらを
ご覧ください



SUPPORT

7

昭和の絆を育み、
次の世代へ伝えたい。

世代を超えて、受け継がれる昭和イズム。大学主催行事をとおしてサポートします。

大学主催行事への寄付



寄付の目的

7-1 大学主催行事

大学の主な年間行事スケジュール

4月	＊入学式・入寮式・入職式・新入生歓迎会 ＊白衣授与式(歯)	10月	＊ホームカミングデー(旗の台キャンパス) ＊ホームカミングデー(横浜キャンパス) ＊解剖慰霊祭 ＊大学院秋季入学式	1月	＊白衣授与式(薬・保)
6月	＊学祖祭			2月	＊国家試験(2月～3月)
7月	＊夏季スポーツ大会壮行会 ＊旗ヶ岡盆踊り大会	11月	＊創立記念日(15日) ＊永年勤続者表彰	3月	＊卒業式・大学院修了式
8月	＊各学部オープンキャンパス ＊教育者のためのワークショップ				
9月	＊夏季スポーツ大会報告会 ＊白衣授与式(医) ＊大学院秋季修了式				

令和7年度寄付実績

2件 200,000円

詳細は
こちらを
ご覧ください



SUPPORT

8

さまざまな「思い」を
かたちにしたい。

具体的な使途を指定することで、細やかなサポートをします。

その他への寄付



寄付の目的

ブルーウィンズ

2018年創部の昭和医科大学女子アイスホッケークラブ「ブルーウィンズ」は職員、一般の社会人、中高生で構成され、アイスホッケーを通じて人々に感動と歓びを届けることで社会に貢献するチームとして活動しています。



8-1 その他(さまざまな用途)

令和7年度寄付実績

1件 1,230,900円

詳細は
こちらを
ご覧ください

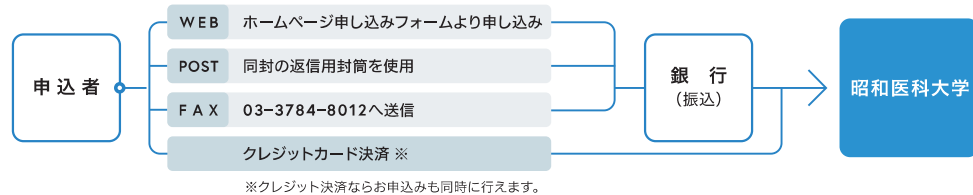


[お申し込み方法]

受付期間 特に定めておりません

ご寄付の金額 個人・法人いずれも、一口当たりの金額は定めておりません ※ご寄付は任意でお願いしております

申込・振込先

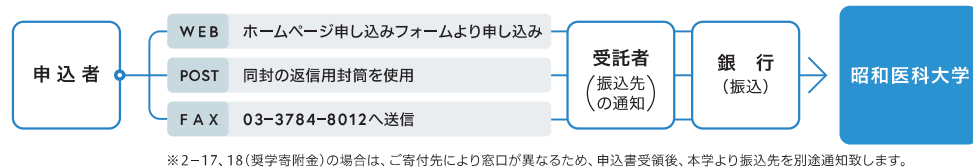


同封の振込用紙でのお支払いか、下記指定口座へ直接お振込ください。

【振込先】 三菱UFJ銀行 わかたけ支店	【口座番号】 普通 2497055	【口座名】 学校法人 昭医科大学
--------------------------------	-----------------------------	----------------------------

※振込手数料は、ご寄付者ご本人様のご負担となりますので、ご容赦ください。
※現金書留によるご送金や大学の窓口にて現金によるご寄付も申し受けれます。

【奨学寄附金の場合】



個人情報の保護について

寄付金申込等にご記入いただいた個人情報は、適正な管理・保護に努め、本学および日本私立学校振興・共済事業団での事務処理の目的に限り使用します。

現物による寄付

機器備品や図書、昭医科大学の歴史に関する資料(ゆかりのある品)等の現物の寄付をお考えの方は、下記連絡先までご相談ください。

旗の台キャンパス	機器備品等	財務部経理課	03-3784-8018
	書籍	図書室	03-3784-8042
	昭医科大学の歴史に関する資料	上條記念ミュージアム事務担当	03-3784-8031
その他施設	機器備品、書籍等	各施設管理課・事務課	

相続による寄付について

連絡先 総務部企画課 03-3784-8387

相続・遺贈によって財産を取得した方が、その取得した財産を昭医科大学へ寄付した場合、**その寄付金額には相続税が課税されません。**

相続税の申告期限は被相続人がご逝去された翌日から10ヶ月以内とされています。申告に必要な書類の発行には、文部科学省への申請が必要となり、発行までに2ヶ月程度の時間をいただいております。ご検討の場合は、余裕を持って昭医科大学総務部企画課までご相談くださいますようお願い致します。

[寄付に対する優遇措置]

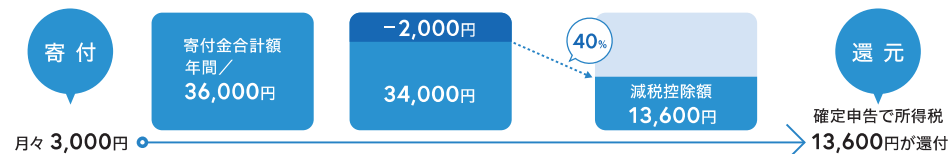
本学に対する寄付は、学校法人への寄付として税制上の優遇措置が講じられています。

個人の場合

本学は、文部科学省より寄付金控除の対象となる証明を受けておりますので、税制上の優遇措置を受けることができます。

寄付金控除(税額控除)額の計算 例:月々 3,000円のご協力の場合

(寄付金合計額-2,000円)×40%=税額控除額



【所得控除制度と税額控除制度】(どちらかを選択できます)

所得控除 [寄付金額(総所得額の40%が限度)-2千円]を総所得額から控除

税額控除 [寄付金額(総所得額の40%が限度)-2千円]×40%を所得税額から控除

※所得税控除額は、その年の所得税額の25%が上限となります。

【個人住民税の寄付金による控除】

東京都、品川区、神奈川県にお住まいの方は、個人住民税の寄付金税額控除の適用も受けられます。

[寄付金額(総所得額の30%が限度)-2千円]×控除率

※控除率:道府県の指定は4%、市区町村の指定は6%、双方の指定は合計の10%となります。

寄付金の税額控除を受けるには、寄付された翌年の確定申告期間に所轄税務署で確定申告を行ってください。
※詳しい内容、手続きについては、所轄の税務署にお問い合わせください。

法人の場合

法人からの寄付金につきましては、法人税法に基づいて、当該事業年度の損金に算入することができます。損金算入できる金額は寄付申込の種類により、下記のとおりとなります。

1・受配者指定寄付金制度のご利用について

制度について

受配者指定寄付金制度とは、日本私立学校振興・共済事業団が、私立学校の研究の発展に寄与するために、寄付者(企業等)からの寄付金を受け入れ、これを寄付者が指定した学校法人へ配付するものです。寄付を行う法人は、この制度を利用することにより、寄付金全額を損金算入することができます。

手続きについて

連絡先 総務部企画課
03-3784-8387

受配者指定寄付の手続きには、本パンフレット同封の申込書に加え、日本私立学校振興・共済事業団宛の所定の寄付申込書が必要になります。ご利用の場合は総務部企画課までご連絡ください。
※受配者指定寄付金は受領書の発行までに2ヶ月程度のお時間をいただいております。

2・特定公益増進法人に対する寄付金

特定公益増進法人に対する寄付金の損金算入限度額は、下記のように定められております。なお、優遇措置を受けるには、本学発行の「領収証」と「特定公益増進法人証明書(写)」が必要です。

①普通法人、協同組合等及び人格のない社団等(②に掲げるものを除きます)

$$(イ+ロ) \times \frac{1}{2} \quad \text{イ} = \text{資本金等の金額} \times \frac{3.75}{1000} \times \frac{\text{当該事業年度の月数}}{12} \quad \text{ロ} = \text{所得の金額} \times \frac{6.25}{100}$$

②普通法人、協同組合等及び人格のない社団のうち資本又は出資を有しないもの、一般財団法人及び一般社団法人(非営利型法人に該当するものに限り)並びにNPO法人(認定NPO法人を除きます)などのみなし公益法人等

$$\text{所得の金額} \times \frac{6.25}{100}$$

[昭和医科大学サポート寄付制度申込書]

[記 入 例]

表 面

裏 面

2-17、18(奨学寄附金)の場合

昭和医科大学

旗ヶ岡倶楽部

ご入会されませんか？

旗ヶ岡倶楽部とは、
 大学の維持及び発展に寄与することを目的とした組織であり
 「至誠一貫」の建学の精神のもと、
 将来にわたりその目的を果たすべく活動しております。

平成30年4月学校法人昭和医科大学では、その維持および発展に寄与することを目的として
 『昭和医科大学旗ヶ岡倶楽部』を発足いたしました。



Hatagaoka Club

| 会 員 要 件 |

学校法人昭和医科大学に
 関係ある方及び一般の有志とし、
 本年に贈金をいただいた方で
 6年間の贈金額合計が、
 ◆個人会員100万円以上
 ◆法人会員(企業・諸団体等)
 1,000万円以上の方



皆様のご入会を
 お待ちしております。
 理事長
 小口 勝司

| 会 員 期 間 | 6年間 ※更新可

ご入会いただきますと、旗ヶ岡倶楽部
 総会にご招待いたします。総会は年に
 数回開催しており、学校法人昭和医科
 大学の役員ならびに会員相互で懇親を
 深めていただくとともに、本学の未来を
 創る有意義な機会となっております。そ
 のほか、会員の方々には、学校法人昭
 和医科大学及び本学が設置する学校の
 刊行物の贈呈、諸行事へのご招待等、
 様々な顕彰を予定しております。
 是非ともご賛同いただき、多くの方々
 にご入会いただきたくお願い申し上げ
 ます。



お申込みはこちらから

